

せとまちトーク進捗管理シート

東明 連区

テーマ

自治会活動の困難化

課題・問題点の背景・理由

- ・町内会加入のメリットを見出すことが必要
- ・連区の担い手がいない
- ・地元で余裕のある人が減少している
- ・高齢化、仕事や生活で繋がりが無い

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

- ・仕事の整理をする(仕事を減らす)
- ・仕事の分担化

- ・他のうまくいっている自治会の例が知りたい

関係する常任委員会

総務生活委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

自治会活動としては、役員の仕事内容の見直しと役割分担を行う点と、自治会加入のメリットを明確にする点を協議することがポイントとなる。これについては、現在のところ連区内では、役割分担については、現状3つのブロックに分けて1ブロックごとにローテーションし、責任を持って副会長、会計を出して頂くようにしている。これは、役員だけに人事を任せるのではなく、地域全体で選出して頂く方法として実行されている。また、副会長は増員できるルールで、仕事を分担できる仕組みが作られている。これにより、役割分担についてはある程度の成果を得ている。課題として、会長選出の折に選考委員会を設けるが、選考委員長が責任を取るルールであるので選考委員長が決まらないケースもある。

にじの丘小学校の自治会活動の課題については、自治会と小学校を繋ぐパイプが無くなったため、情報の共有が出来なくなったことから、自治会が学校活動に積極的に関われない状況にある。この課題については、今後どのように対応していくのか検討しているところである。

自治会の加入課題については、東明連区内に限った課題ではなく、市内多くの自治会の課題になっていると判断できる。効範連区においても、大学の学識者による講演会を開催するなど、各地域での関心事項であると考えられる。議会に於いても、自治会との連携の中で課題と向き合うべきであると考ええる。

【補足】